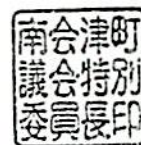




25議委第82号  
平成25年12月6日

南会津町議会議長 芳賀沼 順一 様

雇用と企業誘致に関する特別委員長  
星 登志一



## 委員会調査中間報告書

本委員会に付託された特定調査事件について、会議規則第47条第2項の規定により、別紙のとおり中間報告します。

(別紙：福島県磐梯町)

1. 調査事件 雇用対策及び企業誘致に関する調査研究のための先進地視察研修  
(福島県磐梯町の企業誘致策と若者定住促進住宅)

## 2. 調査の経過

- ・日時 平成25年11月15日(金) 13:00~14:30 ※10:30本庁集合
- ・場所 福島県磐梯町役場
- ・出席者 委員：星登志一・湯田良一・室井 実・阿久津梅夫(1名欠員)  
※芳賀沼議長、菅家副議長、湯田産業建設委員長は、公務重複で欠席  
事務局：酒井局長
- ・説明者 五十嵐源市町長・穴澤保議長・鈴木美雪議会事務局長・吉田博文建設課長  
渡部正雄政策課長

## 3. 調査の結果又は概要(意見)

### ●磐梯町概要

平成25年度一般会計予算額41億5,000千万円、地方交付税12億5,500万円

※議会費5,800万円1.4%

人口：平成25年3,773人(前年3,828人)、平成22年65歳以上1,208人(32.1%)

### ●町長の挨拶

◆企業誘致に関しては土地の斡旋(整地はしていないが山地を確保している)

93,000㎡用意59,000㎡転用34,000㎡残

◆(株)シグマ1,500人・榮泉酒造(株)48人・(有)東栄工14人・(有)三郷工業10人

榎田石材店(有)18人・オブカワ縫製(有)6人・(株)佐川磐梯製氷工場42人

アルツ磐梯スキー場81人・道の駅「ぼんだい」22人(利用者年間88万人)

※昼間の人口より夜間人口が少ない(他市町村より働きに来ている)

◆若者定住と幼小中一貫教育と英語教育に力を入れている

若者が定着するには、医療と教育と職場

磐梯町保育所0歳~3歳 保育時間午前7時~午後7時送迎あり

磐梯町幼稚園4歳~5歳 保育料無料午前8時~午後2時

磐梯町立児童館に4歳児~小学校3年生まで放課後児童クラブを設置

幼稚園から外国青年教師(ALT)の創意発案を活かした活動を通じ一貫した英語教育の徹底(中学卒業まで英語検定2級者75%)

◆町独自の住宅政策により勤労者の住宅環境改善

1戸建て住宅と家族構成による家賃の軽減策

従来の国助成事業では町独自の自由度が認められないので、町長の判断で国土交通省と交渉し新たな事業債を使い建設(50%国の補助、残り50%は過疎債適用)。県では1戸建ては認めない方針だったが、国は指導していなかった。県の意向を無視しないような

1戸建てを建設。全体的には子供が増えると住宅費が安くなるシステム。共働きを考慮して駐車スペース2台分を確保。2校のうち1校は複式学級であったが、来年度より通常学級となる。

◇平成17年度から若者住宅40戸を整備（39組の夫婦と子供69人が入居）

◇平成20年度より若者定住促進宅地分譲事業一区画120万円（約220坪）11区画を整備し9区画を売却済

(別紙：会津富士加工㈱)

1. 調査事件 雇用対策及び企業誘致に関する調査研究のための先進地視察研修  
(会津富士加工㈱の完全閉鎖型植物工場(水耕栽培))

2. 調査の経過

・日時 平成25年11月15日(金) 15:00~16:00

・場所 会津富士加工㈱

・出席者 委員：星登志一・湯田良一・室井 実・阿久津梅夫(1名欠員)

※芳賀沼議長、菅家副議長、湯田産業建設委員長は、公務重複で  
欠席

事務局：酒井局長

・説明者 営業担当 長嶺平人氏

3. 調査の結果又は概要(意見)

●会津富士加工㈱

昭和42年9月設立、富士加工㈱(東京都世田谷区)の会津工場

従業員72名(男性42名・女性30名)

取引先：新光電気工業㈱、㈱ヨークベニマル、宮地医院、関東・東北百貨店

●事業内容

◆ウエハー製造装置の部品製作、機能性野菜「Dr.Vegetable」の販売製造及びフランチャイズ事業の展開

◆平成24年に、クリーンルームで「完全閉鎖型」の水耕栽培による植物工場で、低カリウム野菜の生産開始(腎臓病患者への提供・レタス生産)

◆従事者15名(交代勤務)、新設概算4億円の投資

◆レタス生産は現在200株/1日。東京都の機械関連会社や半導体関連企業と連携し、2016年3月期まで10,000株/1日の生産を目指す。

◆現在の小売値段480円/1株

◇詳細に関しては、フランチャイズ事業の展開をしているので講習会でしか話せない。

◇ランニングコストで大きいのは年間200~300万円の電気代。初期投資3億円

◇新規事業として震災関係の事業対象になれば採算は合いそうだ。

◇販売ルートは会津富士加工㈱で確保する。

◇公設民営で成功すれば南会津地区でも可能性はある。ただし輸送の面と寒冷による熱効率の問題(年間平均栽培温度22度)を検証する必要がある

(別紙：南郷トマト生産組合)

1. 調査事件 雇用対策及び企業誘致に関する調査研究のための意見交換会  
(南郷トマト生産組合との意見交換)

2. 調査の経過

- ・日 時 平成25年11月29日(金) 10:00~12:00 ※9:15本庁集合
- ・場 所 南郷総合支所
- ・出席者 委員：星登志一・湯田良一・湯田 哲・芳賀沼議長・菅家副議長  
(1名欠員)

事務局：鈴木補佐

南郷トマト生産組合：馬場崇嗣組合長含め役員8名・JA事務局3名

3. 調査の結果又は概要(意見)

●南郷トマト生産組合の現状

昭和37年14名の生産者で「トマト研究会」を発足、現在組合員数119戸、作付面積34ha、平成16年稼働の新選果場で雪室予冷出荷。平成25年度9億6千万円、栽培者平均年齢52歳と他の生産部会と比較すると低いが高齢を理由に廃作する者が年数名あり。産地の維持拡大には、新規栽培者の取り込みが重要となる。Iターン新規栽培者は平成4年度~25年度計25名、平成25年度はIターン1名を含め新規栽培者5名。行政の支援もIターンに重きを置いた支援でしたが、近年地元の新規就農者支援の充実が図られ他町村と比べ新規就農者を受け入れやすくなった。平成26年度は研修生8名、4名はIターン者です。Iターンに限定すればスキー場でアルバイト、夏場トマト生産者の手伝いをするうち農業に興味を持ち、就農する例が多い様に見受けられる。とかくIターン者は地元の後継者より収穫も品質も良く、好成績を収める傾向にある。南郷トマト総会で新人賞部門の表彰を受けるのはIターン者が多い。

●今後の課題

- ◆トマトジュース 品薄状態がちょうどよい。規格外45円/kg(通常20円/kg)で売り、95円/kgで買い取る。加工賃3,000~4,000万円 年間50万本 青いトマトの加工方法も考えてみたい。(広く町民から応募する方法も?)
- ◆Iターン夫婦空室と土地の確保 来年度2戸モデル事業
- ◆ビニール資材・パイプ・農機具の更新で頭が痛い。27馬力トラクターが約400万円、現在レンタル利用者もいる
- ◆20ha以上初期投資700~800万円、今後は基金の積み立ても考えながらの計画も大事
- ◆組合全体で作付面積45ha目標(現在34ha)、選果場12年目今後メンテナンス総額2億円くらい必要(設備の補修費)
- ◆冬の働き場に不安がある
- ◆受粉用のハチの減少で収穫量が減った経験がある。

#### 4. その他

課題については、国も過疎債の使用目的を広域事業組合にも適用できるよう検討しているので、町の財政事情や各種事業債を精査し、3月議会で中間政策提言をしたい。

12月議会後は、現在までの活動の検証と漢方薬栽培、再生エネルギーによる雇用等を調査予定。